

第1回 鹿骨小学校・松本小学校 統合に向けた合同会議 議事録（要旨）

【日 時】 令和5年4月19日（水）18時30分～19時46分

【場 所】 松本小学校 3階 会議室

【主な内容】

1 統合・改築事業スケジュール案について

- ・令和5年度から令和10年度までの改築スケジュール案について説明。
- ・合同会議で検討していく諸課題である「統合校の校名」「学用品」「校歌」「校章」は令和5年度中に一定の方針を固めていきたい。

2 統合に係る諸課題（案）について

- ・今後検討していく課題の一覧について説明。
- ・課題一覧表で進捗状況を管理し、順次更新していく。
- ・諸課題については優先順位をつけながら検討を進めていく。

3 通学区域変更案について

- ・通学区域は現在の両校の通学区域を合わせる形とする。

4 統合校の在り方と校名等の検討について

- ・統合校の在り方は両校を閉校し、統合校を新校として設置する。
- ・合同会議では統合校の校名・校歌・校章の方針などを検討していく。
- ・校名の方針検討後に立ち上げる統合準備委員会では教育内容・方針やPTAの組織など実務的な協議を行っていく予定である。
- ・合同会議にて校名案の選定を行った後、教育委員会で最終案を選定、区議会議決を受け正式決定する予定である。

【意見交換内容】

- ・校名が正式決定となるのはこの会議の場ではなく、区議会の議決になるのか。
⇒お見込みのとおりである。この会議で検討いただいた校名案をもとに教育委員会で審議を行った後、条例改正を行うため区議会の議決を経て決定となる予定である。（事務局）
- ・校名の案を出すのはこの会議の中だけでの話か、例えば子どもたちに校名案を検討してもらい持ち寄って考えるという方法は可能なのか。
⇒校名をどう選定していくかは、まずはこの会の中で意見交換を行い方向性を固めていきたい。公募という形で地域の声を拾い上げていくという方法も選択肢として考えられる。（事務局）

- ・他区では新しい学校に花の名や数字を含めた校名をつけている例もあるが、鹿骨地域の町会の方々は「鹿骨」という名前を残したいという意向が強い。そのため、校名を決めるにあたり、この会議の中だけでというのは責任が重く感じる。校名を決めるにあたって、オブザーバーとして町会長がこの会議に参加することも選択肢として考えてはどうか。子どもの意見を大切にするのは言うまでもないが、地域の方の思いや伝統というものも大切にしてほしい。様々な提案が出てくると思うので、それを踏まえて検討していければ良い。
- ・未来のために子どもの意見をきちんと聞き入れていくことが大事だと思う。
 ⇒地域の意見も、子どもたちの意見も公募で集約できるように検討すれば良いのではないかと。「鹿骨」や「松本」の名を残すことが重要であると考えるのであれば、何かしらの制限を設け公募を考えることもできるのではないかと。様々な意見を吸い上げて選定していくことが望ましいと考える。(事務局)
- ・公募という案には賛成である。子どもの意見を聞くことは必要かと思う。せっかくこの地域に新しい学校ができるのであれば、子どもたちにアンケートを取ったり、保護者の方にも意見を聞いたりして広く意見を求め、新しいものも取り入れるべきだと思う。子どもからは大人にはない沢山のアイデアが出てくると思うし、それを見るだけでも統合に向けて楽しいイメージが持てるのではないかと。できるだけこれから通う子どもたちのことを考えてあげてほしい。
- ・鹿骨小と松本小の皆で考えていくことが大事だと思う。両校の名前を残すのであれば、「鹿骨松本小学校」または「松本鹿骨小学校」などはどうか。もし、地域の意見としてどちらもふさわしくないということであれば、新しい名前を募集することも良いのではないかと。子どもたちと地域の方にアンケートを取ったうえで校名を決めていくべき。
- ・中には地域に思い入れが強くない方もいるので、校名に地域名を必ずしも入れる必要はないのではないかと。両校は全く校名も違うことから、どちらの校名にも偏らない全く新しい校名を考えていくことも考えてはどうか。両校の子どもたちの思いが一つにできるような校名が望ましい。
- ・一部卒業生の間では統合校の校名の話で盛り上がっていることを聞いた。在校生だけではなく、両校の卒業生からもアンケートを取っても良いのではないかと感じた。卒業生の思いも汲んでいただければ嬉しい。
- ・子どもたちが鹿骨・松本がどういうところなのか地域の歴史を学んだうえで、子どもたちに校名の意見を求めるとより良いのではないかと。
- ・公募をするとなった場合に、地域を限定して実施することは可能か。
 ⇒可能である。下小岩小、下鎌田小の校名公募の際には「通学区域にお住いの方」というように限定して、町会掲示板やHPで周知を行った事例がある。(事務局)

- ・地域名以外の校名はあるのか。
⇒区内では清新第二小と清新第三小が統合して清新ふたば小になったという例がある。(事務局)
- ・校名と同じくらい大事なの中身であり、どんな学校にしていくかがとても重要だと考えている。
鹿骨・松本の両地域が遺恨なく新しい学校として統合するために、既存のどちらかの小学校名をそのまま使うのは避けたほうが良いのではないかと懸念がある。公募するにしても、ある程度の制約が必要だと思う。
- ・学校は子どものための施設ではあるが、学校を支えているのは地域である。地域に昔から住んでいる方々の意見は大事にしたい。
- ・校名に関して他の自治体の例ではあるが、決まった後に地域から反対の署名活動が起こり、校名が覆ってしまったという事例もある。そのことを踏まえると、町会や地域の想いを全く考慮せずに検討を進めることは避けたほうがよいのではないかと懸念もある。(事務局)
- ・校名の決定は校章に、校章は学用品や、体育館の幕、校旗などに影響する。それらの制作時間を考えると、決定のリミットが決まってくる。実際にはR5年度末までに校名が決まっていれば、その後の校章や校歌の作成が間に合わない訳ではない。ただし、今秋を目安に校名が選定できれば、その後の校章、校歌、学用品の検討に時間を割くことができるため、可能であれば秋を目標に検討を進めてはどうかという提案である。(事務局)

以上